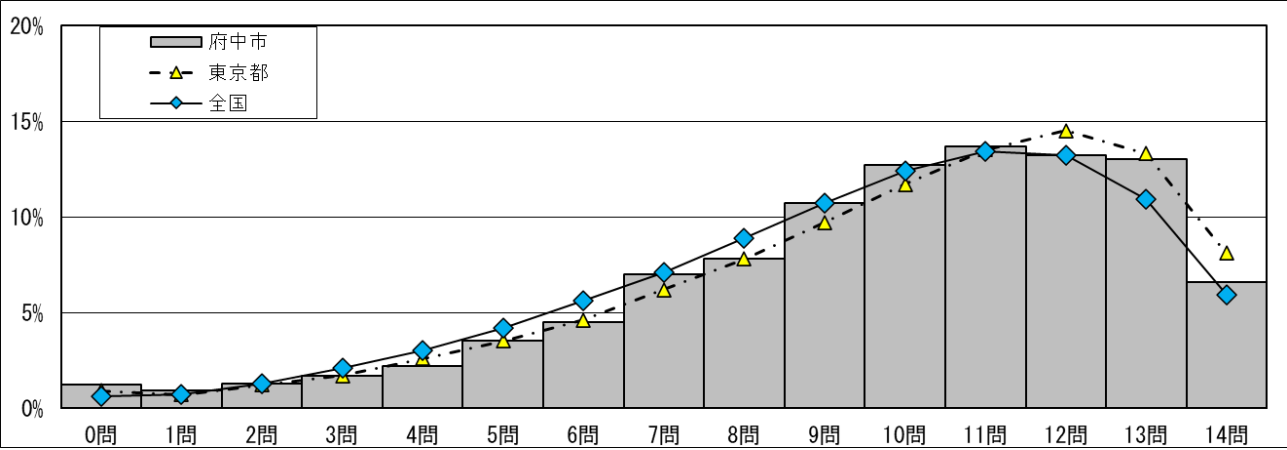


小学校 国語	平均正答率 (%)	中央値[14問中] (問)	話す・聞く (%)	書く (%)	読む (%)	知識・技能 (%)	R5 国語	平均正答率 (%)
市	69	10	62.4	70.1	69.7	72.0	市	69
都	70	10	63.9	69.9	71.9	72.6	都	69
国	67.7	10	59.8	68.4	70.7	69.8	国	67.2



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)			無解答率(%)		
			話す・聞く	書く	読む	知識・技能	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	○				64.3	66.6	62.5	1.8	1.1	0.7
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる				○	81.2	80.3	75.9	1.8	1.0	0.6
2一 (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる		○			84.0	83.4	80.3	2.3	1.3	0.9
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる			○		67.5	71.0	72.6	17.8	15.7	12.6

【教科に関する調査から分かったこと】()は問題番号

○相手や場面等の状況に応じて伝える言葉を選択すること（問1二(1)）、正確に物事を伝えるため要点をまとめること（問2一(1)）について、平均正答率は都・全国よりも高い。

△相手に伝えたり、確認したりするべき内容を精査すること（問1一）について、平均正答率は全国よりも高いが都よりも低く、自分が感じたことを文章として表現すること（3三）については、都・全国よりも低い。

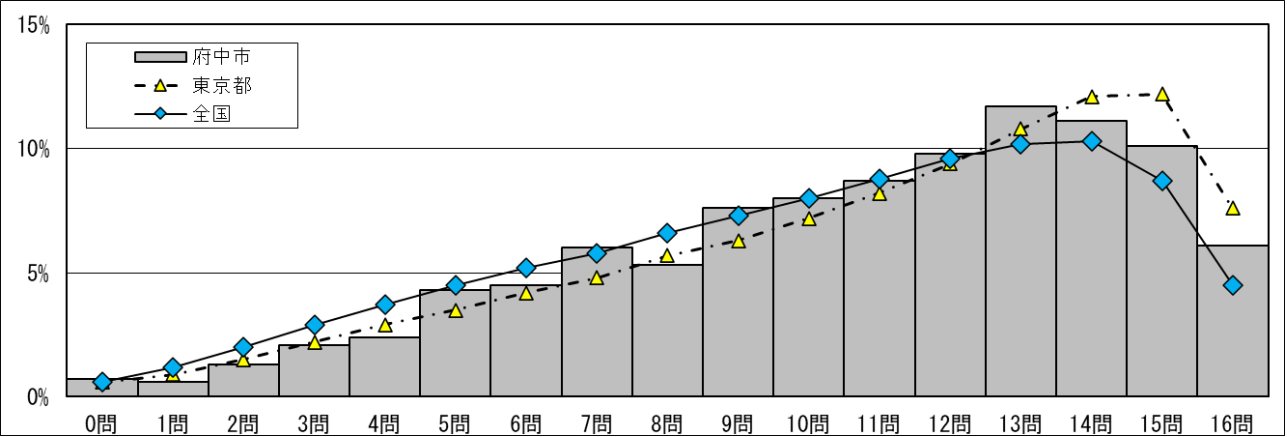
(質問紙調査から)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

	市・児童数の割合 (%)	市・国語平均正答率 (%)
当てはまる	40.5	73.8
どちらかといえば、当てはまる	44.7	68.6
どちらかといえば、当てはまらない	11.6	59.7
当てはまらない	2.6	58.0
学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.6	48.9

【質問紙調査から分かったこと】

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」について、全体の85.2%の児童が肯定的な回答をしているとともに、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向にある。このことは、国語だけでなく算数においても、同様の傾向が見られる。児童同士で対話し、課題発見・解決に向けた取組を行う機会を多く設定することが、学力の向上に結びついていることが分かる。

小学校 算数	平均正答率 (%)	中央値 [16問中] (問)	数と計算 (%)	図形 (%)	測定 (%)	変化と関係 (%)	データの活用 (%)	R5 算数	平均正答率 (%)
市	67	11	69.0	71.0		55.1	64.3	市	66
都	68	12	70.6	70.8		59.3	65.2	都	67
国	63.4	11	66.0	66.3		51.7	61.8	国	62.5



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					正答率 (%)			無解答率 (%)		
			数と 計算	図 形	測 定	変 化 と 関 係	デ ー タ の 活 用	府 中 市	東 京 都	全 国	府 中 市	東 京 都	全 国
2 (2)	除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	○					71.8	73.5	69.1	1.9	1.6	1.3
3 (4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる		○				76.4	73.9	72.0	1.7	2.0	1.8
4 (4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる				○		56.3	62.2	54.1	5.3	5.2	4.6
5 (1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる					○	85.6	82.4	80.8	2.1	2.2	1.8

【教科に関する調査から分かったこと】 ()は問題番号

○ 図形を構成する要素に着目して説明することや(問3(4))や、グラフから必要な情報を読み取ること(問5(1))について、平均正答率は都・全国よりも高い。

△除法における除数と商の関係についての理解(問2(2))や、文章と図を手掛かりに、道のりと時間の関係から速さを求めること(問4(4))について、平均正答率は全国よりも高いが都よりも低い。

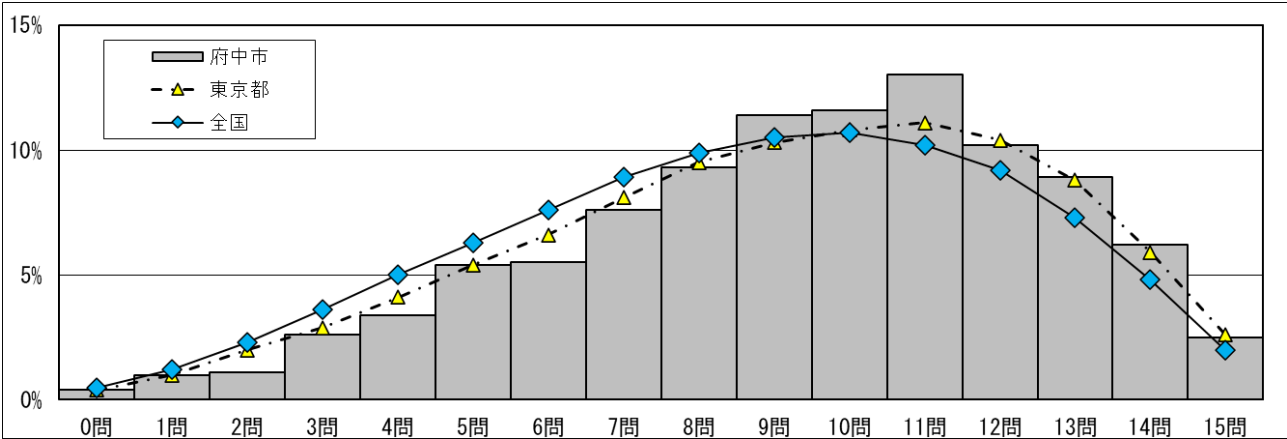
(質問紙調査から)
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

	市・児童数の割合 (%)	市・算数平均正答率 (%)
当てはまる	33.6	71.9
どちらかといえば、当てはまる	47.7	66.1
どちらかといえば、当てはまらない	15.3	61.8
当てはまらない	3.3	55.8

【質問紙調査から分かったこと】

「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」について、全体の80.3%の児童が肯定的な回答をしているとともに、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向がある。このことは、算数だけでなく国語においても、同様の傾向が見られる。児童が学習したことを主体的に活用する場面を積極的に設定することが重要である。

中学校 国語	平均正答率 (%)	中央値[15問中] (問)	話す・聞く (%)	書く (%)	読む (%)	知識・技能 (%)	R5 国語	平均正答率 (%)
市	62	10	64.5	69.3	51.7	79.6	市	73
都	61	9	62.9	67.9	50.8	75.7	都	72
国	58.1	9	58.8	65.3	47.9	75.6	国	69.8



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)			無解答率(%)		
			話す・聞く	書く	読む	知識・技能	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
1一	話合いの中の発言について説明したものと適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる	○				66.6	66.3	63.2	0.3	0.4	0.4
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	○				51.5	48.4	44.7	6.0	8.4	9.9
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる			○		39.5	39.1	36.3	0.6	0.6	0.5
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる				○	60.4	58.0	53.8	1.4	1.1	1.0

【教科に関する調査から分かったこと】()は問題番号

○他者の発言を参考にして、自らの考えをまとめたり、深めたりすること(問1四)や、物語の場面ごとに、その状況について把握すること(問3二)について、平均正答率は都・全国よりも高い。

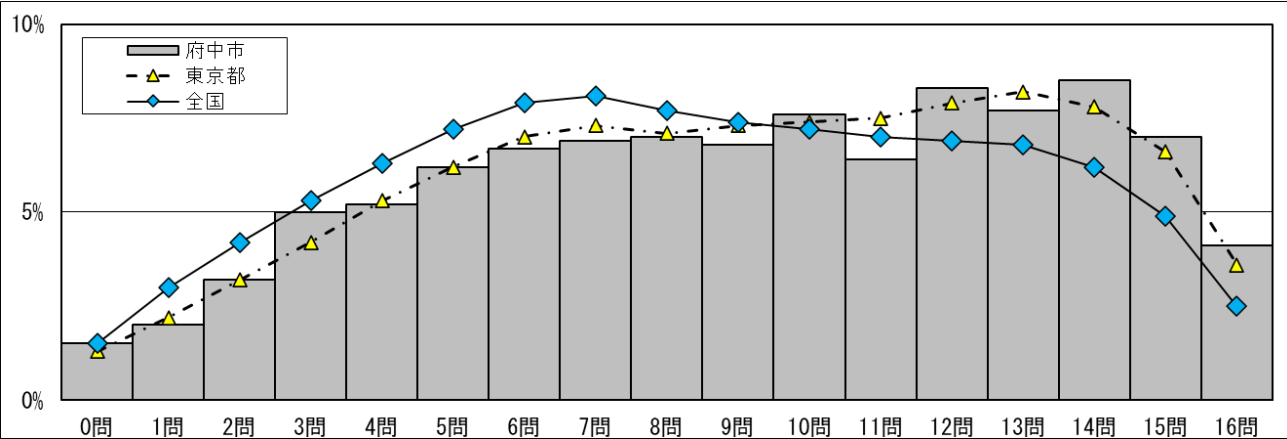
△文章を読んで把握したことを踏まえ、相手とのやり取りからさらに理解を深めること(問1一)や、図と文章の関連を理解し、その関係を踏まえて内容を理解すること(問2一)について、平均正答率は全国よりも高く、都と同じ傾向である。

(質問紙調査から)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	市・児童数の割合(%)	
		市・児童数	平均正答率(%)
		市・児童数	平均正答率(%)
		市・児童数	平均正答率(%)
		市・児童数	平均正答率(%)
	当てはまる	35.3	67.4
	どちらかといえば、当てはまる	52.1	62.4
	どちらかといえば、当てはまらない	9.0	54.1
	当てはまらない	2.3	46.8
	学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	0.6	44.2

【質問紙調査から分かったこと】

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」について、全体の87.4%の生徒が肯定的な回答をしているとともに、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。このことは、国語だけでなく数学においても、同様の傾向が見られる。生徒同士で対話し、課題発見・解決に向けた取組を行う機会を多く設定することが、学力の向上に結びついていることが分かる。

中学校 数学	平均正答率 (%)	中央値 [16問中] (問)	数と計算 (%)	図形 (%)	変化と関係 (%)	データの活用 (%)	R5 数学	平均正答率 (%)
市	57	9	55.9	47.7	63.7	59.5	市	57
都	57	9	56.2	46.5	63.5	59.1	都	54
国	52.5	8	51.1	40.3	60.7	55.5	国	51.1



【主な設問別結果】

問題 番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率 (%)			無解答率 (%)		
			数と式	図形	関数	データの活用	府中市	東京都	全国	府中市	東京都	全国
2	等式 $6x + 2y = 1$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる	○				55.7	57.8	52.5	9.5	9.1	9.7
6 (2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	○				41.4	41.7	35.9	19.1	19.1	23.5
7 (3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる				○	57.5	52.2	48.5	0.9	1.1	0.9
9 (1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくらせるとき、 $AQ = PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる		○			36.3	33.9	25.8	26.4	27.7	33.6

【教科に関する調査から分かったこと】 () は問題番号

- 集団のデータから四分位範囲を比較すること (問 7 (3)) や、図形同士が合同であることを基にして、辺の長さが同じであることの証明 (問 9 (1)) について、平均正答率は都・全国よりも高い。
- △ 目的に応じた等式の変形や (問 2) 式からその意味を読み取り説明すること (問 6 (2)) について、平均正答率は全国よりも高いが都よりも低い。

(質問紙調査から) 授業で学んだ ことを、次の学 習や実生活に結 びつけて考えたり、 生かしたりする ことができますか	市・児童数の 割合 (%)	市・数学 平均正答率 (%)
当てはまる	26.3	63.1
どちらかといえば、 当てはまる	52.1	57.4
どちらかといえば、 当てはまらない	16.2	52.5
当てはまらない	4.2	45.8

【質問紙調査から分かったこと】

「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」について、全体の78.4%の生徒が肯定的な回答をしているとともに、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向がある。このことは、数学だけでなく国語においても、同様の傾向が見られる。生徒が学習したことを主体的に活用する場面を積極的に設定することが重要である。